

災害を未然に防ぐための樹木の事前伐採について

背景

昨年9月の令和元年房総半島台風（台風第15号）では、千葉県において、倒木による大規模かつ長期の停電が発生し、住民生活に甚大な被害を与えました。本県においても、近年、台風等による災害が多発しており、災害時の停電「ゼロ」を実現し、県民の安全・安心な社会基盤を構築するため、倒木による被害を未然に防止する取組の重要性が高まってきています。

現状

「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり、里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」を目標に取り組んでいる「ぐんま緑の県民基金事業」市町村提案型事業では、自然災害防止や有害鳥獣対策、景観維持、安全な道路環境の確保等を目的とした、森林や竹林の整備の取組も行われています。

一方、これまでも、ライフライン事業者により災害時の停電を未然に防止するための事前伐採に取り組んでいます。

今後の対応

災害時の停電「ゼロ」を実現するため、ライフライン事業者と市町村、県が連携し、事前伐採に取り組んでいきます。

具体的な方法

1 ライフライン事業者（東京電力パワーグリッド株式会社と「災害時における停電復旧及び停電の未然防止の連携等に関する基本協定」及び東日本電信電話株式会社と「災害時における相互協力に関する基本協定」）と県で令和2年10月6日に協定を締結。

協定の主な内容

- ・情報連絡体制の構築・強化
- ・災害時に優先復旧を実施する重要施設リストの確認
- ・停電（通信）復旧の妨げとなる障害物等の除去
- ・計画的な樹木伐採の取組等による停電の未然防止

2 ライフライン事業者と県で、災害時における停電防止のための樹木の事前伐採に関する覚書締結を検討中。

主な内容（案）

- ・ライフライン事業者、県の役割分担等の明確化

危険木の事前伐採の財源として、ぐんま緑の県民税市町村提案型事業（困難地整備支援・独自提案事業）を活用していきたい。

令和元年房総半島台風（台風15号）による倒木被災状況



千葉県

平成29年度 ぐんま緑の県民基金 市町村提案型事業 荒廃した里山・平地林の整備

着工前



完成



事業名 甘楽総合公園西側竹林整備
森林面積 1.50 ha
事業費 4,849,200 円

事業実施者 甘楽町
竹林面積 0.70 ha
補助額 4,849,000 円

甘楽町による安全な道路環境を確保するための竹林整備

平成29年度 ぐんま緑の県民基金 市町村提案型事業 荒廃した里山・平地林の整備

着工前

完成



事業名 熊野沢地区竹林伐採事業
森林面積 - ha
事業費 2,451,060 円

事業実施者 中之条町
竹林面積 0.42 ha
補助額 2,451,000 円

中之条町による、有害鳥獣対策、景観問題の改善を目的とした竹林の整備

令和元年度 ぐんま緑の県民基金 市町村提案型事業 荒廃した里山・平地林の整備

着工前



完成



事業名	青倉（番匠免）森林整備	事業実施者	下仁田町
森林面積	0.17 ha	竹林面積	-ha
事業費	2,309,900 円	補助額	613,000円

下仁田町による自然災害、有害鳥獣対策、景観維持を目的とした森林整備